

令和6年度

住吉小学校

2年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名：「えがおのひみつたんけんたい」  
(活動名)

- ねらい：
- ・地域と関わる活動を通して、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることに気付く。
  - ・地域やそこで働いている人々について考えたり、公共施設などのよさや働きを捉えたりする。

## まちたんけん

【6月25日】

自分の家や学校の周りの「お気に入りの場所」について話し合い、学区域の町探検へ出かけました。

広い学区域の中には「初めて来た!」「知らなかった。」という場所もあり、住吉のまちへの興味を広げる学習になりました。



## ルピナス見学

【7月5日】

住吉会館ルピナスに行き、施設の中を見学しました。事前学習で、「ルピナスって近くにあるけど、どんな場所だろう。」「どんな人が働いているのだろう。」などとみんなで疑問点をあげました。職員の方の話を聞き、一生懸命にメモを取る姿が見られました。



## 谷戸図書館見学

【10月9日】

谷戸図書館に行き、図書館の職員の方がどのような思いで働いているのかお話を聞きました。本が大好きな子どもたちは、「こんなにいろいろな本があるんだ!」「こんな工夫があるんだ!」と言って、見学をとっても楽しんでいました。実際に本を借りて学校に戻りました。



# 見学のまとめ

【11月11日】

谷戸図書館で見学してわかったことをグループごとにまとめて、発表しました。発表の仕方はグループごとに考えて、新聞にまとめたり、紙芝居にしたり、説明の後にクイズを出題したりと、それぞれ工夫して、わかりやすく発表していました。



## すてきなすみよし見つけたい!



【12月12日】

グループに分かれて、自分たちの住む地域にある施設やお店を訪問しました。普段は見られないところを見せていただき、新しい発見がありました。お話を聞いたり質問したりして、施設やお店の工夫や働く方々の思いを知ることができました。

調べたことをもとに、クラスを越えてグループで協力して新聞や劇にしてまとめました。それぞれの施設やお店で見つけた工夫や働く人々のすてきなところをグループごとに発表します。

## まとめ コラム

「いつも何気なく生活しているけれど、自分たちの生活を支えてくれている人がいる。」ということに気付く有意義な体験をしました。子どもたちは地域で働く方々の思いを知り、「すごい!」「そうだったんだ!」と初めて知ることによって目を輝かせていました。今回学んだことを胸にとめ、地域に貢献できる子どもたちに育ててほしいです。